

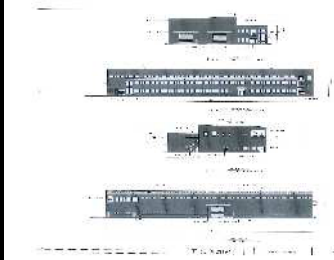
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年進補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大昌精機(株)名塩工場新築工事	階数	地上2F
建設地	西宮市国見台6丁目2-1	構造	S造
用途地域	防火地域指定なし、準工業地域	平均居住人員	50人
気候区分		年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年11月 予定	評価の実施日	2014年4月30日
敷地面積	17,046 m ²	作成者	(有)ライト建築設計事務所
建築面積	4,011 m ²	確認日	2014年4月30日
延床面積	5,440 m ²	確認者	(有)ライト建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 94%

上記+ 以外の: 94%

上記+: 94%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 1

LR2 資源・マテリアル: 2

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	外構緑化により、良好な景観形成をしている。高効率の設備機器や省水型機器の導入により、節電や節水に努めている。	その他 0
Q1 室内環境	遮音性能T-2使用している。マルチユニット型ヒートポンプ方式を採用し、ゾーン別に冷房・暖房の選択が自由な空調システムとしている。便所の照明は、人感センサーによる制御を採用している。	Q2 サービス性能 事務室の天井高は2.9m以上である。外壁材は、アクリル系吹付タイルで補修必要間隔30年である。可能な限り配管の系統を区分し、災害時の使用不能部分の低減を図っている。
LR1 エネルギー	PAL* = 315MJ/m ² 年、ERR = 16%である。トップライトを採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化指数38.61%である。アカマツ・ケヤキ・クロマツなど様々な植物を植栽し、良好な緑地づくりを行っている。
	LR2 資源・マテリアル 自動水栓に加え、人感センサー方式による洗浄付の小便器を採用し、節水に努めている。OAフロア・LGSを採用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ = 94%である。建物利用者のための自転車置場や駐車スペースを設置している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 *ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される